



病児・病後児保育室 すこやかルーム

すこやかだより

創刊号

病児・病後児保育を始めます。

総合守谷第一病院ではこれまで、守谷市の委託を受けて病後児保育を行って参りましたが、此度、病後児保育よりもさらに市民の皆様の要望の強い病児保育を、実施させていただくこととなりました。これまでの病後児保育では、病気が治癒した後の体力等の回復が必要なお子様をお預かりしてまいりましたが、今後は必ずしも病気が治癒していない段階でのお子様をお預かりさせていただくこととなります。もちろん入院していただくわけではございませんので、治癒はしていないが、病状が比較的安定しているお子様が対象となります。

当院と致しましては、お子様の安全を第一に考えるとともに、真に守谷市の子育て支援のお役に立てるよう、開始後も市民の皆様のご要望をお聞きしながら、市民の皆様とともに、この事業を発展させて参りたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

総合守谷第一病院 病院長 城賀本満登



《すこやかルームでの取り組み》

子供たちの病状や全身状態を把握し、一人ひとりに寄り添った保育看護を行っていきます。

1 安静と環境

安静にすることは、病状の回復を促すため、とても大切です。安静が保てるよう、保育室の温度・湿度だけでなく、リラックスできるような音楽を流すなど配慮します。

2 保護者への説明とアドバイス

お子様の一日の様子を、お迎えの際に詳しくお伝えします。また、家での過ごし方や子育て等のアドバイスもしていますので、遠慮なくご相談ください。

3 病児対応

看護師や保育士がお子様の一日をしっかりと見守ります。万が一の容態の変化にも、近接する総合守谷第一病院の小児科医が診察にあたりますのでご安心ください。

4 ご利用予約

ご予約は、利用希望日の2日前から前日までに電話で確認し予約をしてください。午前8時から受付致します。また、お子様の状態が良くなったか、保育される方の都合が良くなった場合などによるキャンセルにつきましては、事前にご一報をお願いします。キャンセル料は発生致しません。

～豆ちしき～

インフルエンザ予防にマスク
意味があるのか、ないのか

- 実はインフルエンザウイルスそのものの大きさはマスクの隙間より小さいです。
- マスクの隙間は約 $5\mu\text{m}$ 、ウイルスの大きさは約 $0.1\mu\text{m}$ です。
- 「じゃあ、マスクしても意味は無いの??」と思ってしまうがちですが、インフルエンザに罹ってしまう一つの原因に、“しぶき”を浴びること、が挙げられます。
- 人は話す時などに口からしぶきを出しています、咳やくしゃみの時には、より“しぶき”を出していて、それは数メートル飛ぶ事があります。
- 咳やくしゃみと一緒に出てくるインフルエンザウイルスは、水分に覆われ $5\mu\text{m}$ 以上の大きさとして出てきます。
- そのインフルエンザウイルスを含んだ“しぶき”を浴びてしまうと、インフルエンザに感染する恐れがあります。(右下図)
- 「じゃあ、インフルエンザに罹った人の近くに行く時だけマスクをすればいいのか」とも思ってしまうがちですが、
- 実は、インフルエンザウイルスは、**発症する1日前から既に鼻水中にいる、とされています。**
- 次の日にインフルエンザになる人(自分もそうかもしれない!)も感染力をもっているということです。
- 私達は知らず知らずの内に他の人にインフルエンザを感染させてしまうかもしれないのです。
- 特に流行時におけるマスク着用は、発症1日前から感染力のあるインフルエンザにおいて、理にかなった感染対策と言えます。
- ただ、残念ながらマスクでウイルスを完全には防ぐことは出来ません
- インフルエンザ対策には、マスクの他に、**ワクチン・手洗い**など他の対策もあります。一つだけの対策で防げる感染症ではありません。対策を重ねて、インフルエンザに罹らないように気をつけましょう!

